

2010年7月22日

### プレスリリース

本資料は7月22日にチュ  
ーリッヒで発表されたプレ  
スリリースの翻訳版です

## クレディ・スイス・グループ 2010年第2四半期業績を発表

純利益 16 億スイス・フラン (CHF)、株主資本利益率 17.8%、新規純資  
産 145 億 CHF、Tier 1 資本比率 16.3%

2010 年上半期の純利益 37 億 CHF、株式資本利益率 20.1%、新規純資産  
405 億 CHF

- 困難な市場環境の中で 2010 年第 2 四半期は総じて弾力的な業績
  - すべての事業部門で市場シェア拡大の勢いを維持
- プライベート・バンキング部門、好調な業績
  - 税引前利益 9 億 CHF、純収益 30 億 CHF
  - 新規純資産は 138 億 CHF と好調、特に国際事業分野で顕著
  - コーポレート&インスティテューショナル顧客事業が大幅な新規純資産と市場シェア拡大で力強い業績
- インベストメント・バンキング部門、弾力的な業績
  - 税引前利益 8 億 CHF、純収益 41 億 CHF
  - 純収益はボラティリティの高い市場環境の影響を受ける
  - 低調な債券営業およびトレーディング業績
  - 好調な株式営業およびトレーディング業績、市場シェア拡大
  - 引受およびアドバイザリー業務の手数料収入は 2009 年第 2 四半期比 41%増と弾力的な業績
  - 厳格なリスク管理の継続：リスク加重資産は 2010 年第 1 四半期比若干減の 1,420 億米ドル；CHF 建て一日平均バリュアットリスク値 (VaR) 99%は 2010 年第 1 四半期比 13%増
- アセット・マネジメント部門、事業計画の実施により引き続き進展
  - 過去 4 四半期を上回る預かり運用資産流入
  - 2010 年第 2 四半期の新規純資産 13 億 CHF
  - 税引前利益 2,200 万 CHF、純収益 5 億 CHF

クレディ・スイス・グループは、本日、2010年第2四半期の業績を発表しました。2010年第2四半期は株主帰属ベースで16億CHFの純利益、中核事業の純収益は84億CHFを計上しました。株主帰属ベースの株主資本利益率は17.8%、希薄化後1株当たり純利益率は1.15CHFでした。当四半期末現在のTier 1資本比率は16.3%でした。

最高経営責任者（CEO）のブレイディ・ドゥーガンは次のように述べています。「第2四半期は金融業界にとって難しい四半期でしたが、弾力的な業績を上げることができました。プライベート・バンキング部門での新規純資産の大幅流入、また、特にインベストメント・バンキング部門とスイス国内の法人向け業務における市場シェア拡大の勢いなど、当社事業基盤の強みを示しました」。

「当社は強固な資本基盤と流動性基盤を有しており、規制要件の変化に十分対応することが可能です。当社は、銀行業界の監視に関するグローバルに統一した取組みを推進すべく、規制当局とオープンで建設的な対話を行い、また不利な市場環境の中で顧客をサポートすることを通じて、より堅牢で安定した金融システムの構築を目指す業界の取組みにも積極的に参加しています」（ドゥーガン）。

「不透明なマクロ経済環境が続いていますが、当社は2010年上半期に株主資本利益率20%を達成し、また業務の拡充にも大きな進展がありました。不確実で困難な経済と市場環境においても、当社の事業戦略が弾力的で適切なものであるということを引き続き確信しています」（ドゥーガン）。

## 決算ハイライト

単位：百万 CHF	2010年 第2四半期	2010年 第1四半期	2009年 第2四半期	2010年 第1四半期 からの増減率 (%)	2009年 第2四半期 からの増減率 (%)
当期純利益 株主帰属ベース	1,593	2,055	1,571	(22)	1
希薄化後1株当たり利益 (CHF)	1.15	1.63	1.18	(29)	(3)
株主資本利益率 株主帰属ベース (年換算)	17.8%	22.3%	17.5%	-	-
Tier 1資本比率 (期末)	16.3%	16.4%	15.5%	-	-
継続事業からの運用資産 (10億 CHF)	1,242.6	1,270.9	1,175.2	(2.2)	5.7
<b>中核事業</b>					
純収益	8,420	8,961	8,610	(6)	(2)
貸倒引当金繰入額	20	(50)	310	-	(94)
営業費用合計	6,594	6,077	6,736	9	(2)
継続事業からの税引前利益 <sup>1)</sup>	1,806	2,934	1,564	(38)	15

<sup>1)</sup> 中核事業は3事業部門とコーポレート・センターの業務を含む。ただし大きな経済的利益を有しない少数株主持分に関する利益と費用を除く。

## 部門別業績

### プライベート・バンキング部門

ウェルス・マネジメント顧客事業とスイス国内コーポレート&インスティテューショナル顧客事業からなるプライベート・バンキング部門の2010年第2四半期の税引前利益は、8億7,400万CHFでした（前年同期比7%減）。これは純収益が29億9,100万CHFと安定的だったものの、営業費用合計が前年同期比9%増となったためです。当四半期の新規純資産は138億CHFで、これは、特に国際事業分野での大幅な資産流入によるものです。

**ウェルス・マネジメント顧客事業**の2010年第2四半期の税引前利益は6億3,300万CHFで、前年同期を17%下回りました。当四半期の純収益は25億1,600万CHFで引き続き安定していました。継続事業ベースの収益は、手数料等収入の増加および純利息収入の増加に牽引されて増加しましたが、トランザクション・ベースの収益の減少（主に好調であった前年同期と比べ、統合ソリューション収益が大幅に落ち込んだため）によって相殺されました。当四半期の運用資産の総マージンは120ベーシス・ポイントで、前年同期を15ベーシス・ポイント下回りました。これは平均運用資産が12.8%増加したものの、純収益が安定的に推移したことによります。プライベート・バンキング部門の新規純資産合計のうち、ウェルス・マネジメント顧客事業の貢献分は119億CHFで、これを年率ベースの新規純資産成長率に換算すると5.8%となります。そのうち103億CHFは国際事業分野で獲得したもので、これは新興市場で大きな資産流入があったためです。

**コーポレート&インスティテューショナル顧客事業**の2010年第2四半期の税引前利益は2億4,100万CHFで、前年同期を37%上回りました。これは、当四半期の純収益が前年同期を6%上回る4億7,500万CHFに増大し、貸倒引当金繰入額を正味1,300万CHF取崩したことによるものです（前年同期は引当金純額5,900万CHFを計上）。貸倒引当金繰入額の正味取崩は、融資ポートフォリオの質の高さとスイス国内経済の継続的な回復を反映しています。同事業の当四半期の業績には、シンセティック・ローン担保ポートフォリオである「クロック・ファイナンス」関連時価損失分100万CHFが含まれていますが、損失は前年同期の3,200万CHFに比べ小さくなっています。同事業は法人向け業務で大幅な市場シェア拡大を達成し、当四半期中に19億CHFの豊富な新規純資産を獲得しました。

### **インベストメント・バンキング部門**

インベストメント・バンキング部門は、2010年第2四半期も顧客中心で資本効率の高い事業戦略を継続し、ほとんどの業務分野および地域で市場シェアの勢いを維持しました。2010年第2四半期の純収益は7億8,400万CHF（前年同期は16億5,500万CHF）でした。純収益は40億9,900万CHFで、前年同期比32%減となりましたが、これは主に債券営業とトレーディング収益が低調であったことによるものです。これらの減収は、株式営業とトレーディング、引受およびアドバイザー業務の収入が好調であったことにより一部相殺されました。全般的に債券と株式の発行高が減少したものの、当社は市場シェアの拡大によってそれを相殺できたためです。

債券営業およびトレーディング業績は、困難な市場環境にもかかわらず、米国の住宅用モーゲージ担保証券（RMBS）トレーディング、グローバル金利および外国為替業務における堅調な収入によって牽引されました。クレジット業務の収入は、信用スプレッドの拡大など困難な市況によるマイナスの影響を受けました。新興市場トレーディングと企業貸付事業の収入は、顧客のリスク忌避傾向と信用リスクの拡大によってマイナスの影響を受けました。

株式営業およびトレーディング収益は、困難な市況と消極的な顧客活動にもかかわらず好調で、ほとんどの業務で市場シェア拡大を維持しました。当四半期の収益は、好調であった前年同期を下回ったものの、2010年第1四半期実績を若干上回りました。これは、現物株式およびプライム・サービスの好調な収入、ならびにデリバティブ事業における堅調な収入によるものです。

インベストメント・バンキング部門の業績は、クレディ・スイス社債の時価評価額損 6,200 万 CHF（前年同期は 2 億 6,900 万 CHF の正味時価評価損）を反映しています。

当四半期の税引前利益マージンは前年同期の 27.5% に対して 19.1% でした。当四半期の税引前平均利用経済資本に対する税引前利益は前年同期の 32.2% に対して 15.8% でした。

当四半期の営業費用合計は 32 億 9,800 万 CHF で、前年同期を 20% 下回りました。

リスク加重資産残高は 1 億 4,200 万米ドルで、2010 年第 1 四半期を若干下回りました。これはインベストメント・バンキング部門が撤退事業分野から顧客中心事業分野の成長を促すよう資本の再配分を継続しているためです。一日平均バリュアットリスク値（VaR）99% は、2010 年第 1 四半期から 13% 増加して 1 億 170 万 CHF となりました。

### アセット・マネジメント部門

アセット・マネジメント部門の 2010 年第 2 四半期の税引前利益は 2,200 万 CHF（前年同期は税引前利益 5,500 万 CHF）でした。当四半期の純収益は 5 億 200 万 CHF で、前年同期を 16% 上回りました。当四半期の純収益は、プライベート・エクイティおよびクレジット関連投資における未実現投資関連利益 4,600 万 CHF（前年同期は 2,800 万 CHF の損失）、およびクレディ・スイスのマネー・マーケット・ファンドから取得した残りの証券の売却益 3,600 万 CHF の恩恵を受けています。当四半期の営業費用合計は前年同期比 27% 増でしたが、これは従業員報酬と手当、一般管理費および手数料が増加したためです。従業員報酬および手当の増加は、主に過去年の報奨金と基本給の増加からの繰延従業員報酬の増加によるものです。当四半期の新規純資産額 13 億 CHF には、オルタナティブ投資への流入分 11 億 CHF、スイス国内アドバイザー事業で主に行っている従来型投資への 2 億 CHF が含まれます。

### 部門別業績

単位：百万 CHF		2010 年 第 2 四半期	2010 年 第 1 四半期	2009 年 第 2 四半期	2010 年第 1 四半期からの 増減率 (%)	2009 年第 2 四半期からの 増減率 (%)
プライベート・ バンキング	純収益	2,991	2,900	2,951	3	1
	貸倒引当金繰入額	3	19	72	(84)	(96)
	営業費用合計	2,114	1,989	1,944	6	9
	税引前利益	874	892	935	(2)	(7)
インベストメント・ バンキング	純収益	4,099	5,216	6,011	(21)	(32)
	貸倒引当金繰入額	17	(69)	238	-	(93)
	営業費用合計	3,298	3,491	4,118	(6)	(20)
	税引前利益	784	1,794	1,655	(56)	(53)
アセット・ マネジメント	純収益	502	631	434	(20)	16
	貸倒引当金繰入額	0	0	0	-	-
	営業費用合計	480	465	379	3	27
	税引前利益	22	166	55	(87)	(60)

### コーポレート・センター

コーポレート・センターの税引前利益は 1 億 2,600 万 CHF で、これは主として、クレディ・スイス社債の公正価値の増加分 9 億 2,200 万 CHF、ならびに英国の変額報酬課税による従業員報酬費用 4 億 4,700 万 CHF および訴訟関連引当金 2 億 1,600 万 CHF を含む費用の大幅な増大によるものです。またクレディ・スイスは、法人合併の結果としての税控除分 5 億 2,200 万 CHF を計上しました。

### **統合バンク・モデルの利点**

クレディ・スイスは、2010年第2四半期に、統合銀行事業モデルからのコラボレーション収益12億CHFを創出しました。2009年第2四半期は15億CHFでした。

### **資本基盤および流動性**

クレディ・スイスの資本基盤は引き続き強固です。2010年第2四半期末時点のTier 1資本比率は16.3%でした。2009年第2四半期末時点では15.5%、2010年第1四半期末時点では16.4%でした。

クレディ・スイスは、信用市場と金融市場が混乱した時、強力な流動性ポジションを確保していました。そして市場での資金調達を通じて、多額の追加費用を負担しながらも、その流動性を維持、強化してきました。これらを通じて、スイス金融市場監督当局（FINMA）が発表し、2010年第2四半期末から施行された定量・定性流動性管理に関する新規則に、当社は十分対応できる地位を確保しています。

### **本件に関するお問い合わせ先**

クレディ・スイス  
コーポレート・コミュニケーションズ  
梶野 勇  
Tel : 03-4550-9893  
Email : isamu.kajino@credit-suisse.com

### **クレディ・スイス AG について**

クレディ・スイス AG は、世界有数の金融機関として、プライベート・バンキング、インベストメント・バンキング、アセット・マネジメント事業を世界中で展開し、アドバイザー・サービス、包括的なソリューション、革新的な商品を、世界中の法人および富裕層個人顧客、またスイス国内の一般個人顧客に提供しています。クレディ・スイス AG は、世界 50 ヶ国以上に拠点をもち、約 49,200 人の従業員を有しています。親会社クレディ・スイス・グループ AG の株式 (CSGN) はスイスで上場され、米国預託証券 (CS) としてニューヨークでも上場しています。

**Cautionary statement regarding forward-looking information and non-GAAP information**

This press release contains statements that constitute forward-looking statements within the meaning of the Private Securities Litigation Reform Act. In addition, in the future we, and others on our behalf, may make statements that constitute forward-looking statements. Such forward-looking statements may include, without limitation, statements relating to the following:

- our plans, objectives or goals;
- our future economic performance or prospects;
- the potential effect on our future performance of certain contingencies; and
- assumptions underlying any such statements.

Words such as “believes,” “anticipates,” “expects,” “intends” and “plans” and similar expressions are intended to identify forward-looking statements but are not the exclusive means of identifying such statements. We do not intend to update these forward-looking statements except as may be required by applicable securities laws. By their very nature, forward-looking statements involve inherent risks and uncertainties, both general and specific, and risks exist that predictions, forecasts, projections and other outcomes described or implied in forward-looking statements will not be achieved. We caution you that a number of important factors could cause results to differ materially from the plans, objectives, expectations, estimates and intentions expressed in such forward-looking statements. These factors include:

- the ability to maintain sufficient liquidity and access capital markets;
- market and interest rate fluctuations;
- the strength of the global economy in general and the strength of the economies of the countries in which we conduct our operations, in particular the risk of a continued US or global economic downturn in 2010 and beyond;
- the direct and indirect impacts of continuing deterioration of subprime and other real estate markets;
- further adverse rating actions by credit rating agencies in respect of structured credit products or other credit-related exposures or of monoline insurers;
- the ability of counterparties to meet their obligations to us;
- the effects of, and changes in, fiscal, monetary, trade and tax policies, and currency fluctuations;
- political and social developments, including war, civil unrest or terrorist activity;
- the possibility of foreign exchange controls, expropriation, nationalization or confiscation of assets in countries in which we conduct our operations;
- operational factors such as systems failure, human error, or the failure to implement procedures properly;
- actions taken by regulators with respect to our business and practices in one or more of the countries in which we conduct our operations;
- the effects of changes in laws, regulations or accounting policies or practices;
- competition in geographic and business areas in which we conduct our operations;
- the ability to retain and recruit qualified personnel;
- the ability to maintain our reputation and promote our brand;
- the ability to increase market share and control expenses;
- technological changes;
- the timely development and acceptance of our new products and services and the perceived overall value of these products and services by users;
- acquisitions, including the ability to integrate acquired businesses successfully, and divestitures, including the ability to sell non-core assets;
- the adverse resolution of litigation and other contingencies;
- the ability to achieve our cost efficiency goals and other cost targets; and
- our success at managing the risks involved in the foregoing.

We caution you that the foregoing list of important factors is not exclusive. When evaluating forward-looking statements, you should carefully consider the foregoing factors and other uncertainties and events, as well as the information set forth in our Annual Report 2009 under IX – Additional information – Risk Factors.

This press release contains non-GAAP financial information. Information needed to reconcile such non-GAAP financial information to the most directly comparable measures under GAAP can be found in the Credit Suisse Financial Release 2Q10.